

# 国立天文台 VLBI 運営小委員会報告

藤沢健太（委員長）

## （１）VLBI 運営小委員会とは

VLBI 運営小委員会とは国立天文台が設置する委員会の1つであり、電波専門委員会の下部に位置する。国立天文台で行う VLBI に関する研究について議論する場であり、その位置づけ、および議論の内容を、VLBI 研究者の団体である VLBI 懇談会に報告する。

## （２）設置目的、構成員、今期の委員会の議論の方針、審議事項の例

国立天文台には複数の専門委員会がある。その一つ、電波天文学に関する審議を行う電波専門委員会により、特に VLBI に関する事項について調査審議するために設置したのが VLBI 運営小委員会である。現在の構成員は以下の通りである（敬称略）。任期は2年である。

- 天文台内：立松、久野、川口、柴田、郷田、小林、佐々木、本間（8名）
- 天文台外：面高、中井、福崎、徂徠、藤澤、米倉、小川、高羽、嶺重、村田、市川（11名）

今期の本委員会の議論の方針として、次の2項目を掲げている。

1. VLBI 運営小委員会は、電波専門委員会から出された審議事項を審議し、電波専門委員会に答申する。
2. VLBI 運営小委員会は、国立天文台が主体的な役割を担う VLBI の研究に対し、将来計画を含めた研究計画と研究の指針を議論し、VLBI 関係者の総意を形成し、またそれを電波専門委員会に提出する。

本小委員会における審議事項の代表的なものを以下に紹介する。

- ・ VERA 共同利用に関する審議：VERA の運営、特に共同利用の方針は本小委員会で審議し、電波専門委員会に答申して承認を受けて、初めて実施される。
- ・ 大学連携、VERA+KVN、東アジア VLBI の運営及び共同利用に関する審議：VERA を中心とする組織的な活動は、その方針や現状などについて随時報告及び審議を本小委員会で行い、上部委員会に報告する。
- ・ 国内外の VLBI 関連活動報告：様々な活動について報告し、必要な事項を審議する。VLBI に関係する者が意見を公にし、議論を行い、合意を形成し、また必要に応じて判断をする場として、本小委員会があるといえる。

## （３）将来計画に関する議論

日本の VLBI 天文学が国立天文台を中心に行われていることを考慮すると、本小委員会は VLBI 天文学の将来に大きな責任があるといえる。本小委員会で将来計画の議論をしっかりと行い、計画の実現に向けた運動を促進するよう、働きかけることが必要である。

そのために今期1年半をかけて、次のステップで将来計画を議論する予定である。(i) 前期に行った将来計画WGの議論のレビュー、(ii) これまでの日本の VLBI 天文学の成果と現状（課題）、国外の情勢（サイエンス、装置、開発）のレビュー、(iii) 以上の報告を踏まえ、VLBI 天文学の将来像案を作成し、議論を行う。議論の状況・結果は、電波専門委員会、ユーザー会合（V 懇ほか）へ報告する。